

アグリ筑西

2015 7 月号



梅雨に入り、湿度の高い日が多くなっています。植物の病害などにご注意下さい。

県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター) 発行
Tel : 0296(24)9206 Fax : 0296(24)6979

こだまスイカ産地女性の会 収穫体験実施

5月23日、筑西・桜川こだまスイカ産地女性の会では、筑西市の都市農村交流事業の一環として、台東区立蔵前小学校の親子44組を迎え、こだまスイカの収穫体験を行いました。

晴天に恵まれ、ハウスの中はなかなかの暑さでしたが、暑さにも負けず、会員に穫り方を教わりながら1個ずつ収穫し、「やったあ!!」「重~い」「今すぐ食べたい」と大喜びでした。



最後に女性の会から、「おいしい温度は15℃」、そして「スイカは食べ頃で収穫」「日持ちしないので早く食べる」ことを伝えて、「知らなかった!」「帰ったら早速冷蔵庫に冷やして食べよう!!」とスイカの食べ方についても理解してもらいました。



関城4Hクラブがナシ新梢管理講習会を実施!!



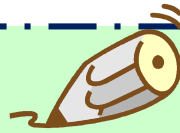
5月27日に、関城4Hクラブの主催によるナシ新梢管理の講習会が開催されました。当日はクラブ員を含め筑西市、下妻市の若手ナシ生産者8名が参加し、クラブ員圃場の樹を用いてナシの新梢管理や「にっこり」の若木の管理方法、H型主枝の樹づくりについて研修を行いました。また、下妻市内のジョイント仕立ての実証圃と大苗共同育苗圃場を見学し、実際にクラブ員の圃場の若木で当部門職員の実演によりジョイントの接ぎ木作業を学びました。

関城4Hクラブでは例年、夏・冬2回のナシの栽培講習会と視察研修を開催していますが、近年はジョイント仕立てや根圏制御栽培など、早期成園化技術に対する関心も高く、先進的な取り組みの見学等を度々行っています。また、関城地区に限らず筑西・下妻地区の若手生産者の情報交換と交流の場となっています。産地を担う若手として、今後ますますの活動の発展が期待されます。

管理作業の様子



第1回農業学園を開催しました！



5月29日、筑西合同庁舎にて農業学園開講式および第1回講座を行い、就農1年～7年目の若手農業者10名が参加しました。

第1回講座は、6次化を実践している吉野農園直売所で行い、青年農業士である吉野秀一氏から、「小さな直売所から、カフェを備えた直売所に発展するまで」の経過をお話いただきました。その後、吉野農園で収穫されたトマトを使用したカレーを食べながら、学園生同士交流を深めました。学園生は、野菜の栽培方法や作型、「付加価値をつけるにはどうしたらよいか？」「市場出荷以外の販売はどうしたらよいか？」等、自らが抱える疑問等について共有していました。

若手の農業者は農業者間のつながりが乏しく、疑問点を話し合ったり、不安を共有することができる仲間が存在が大切であると感じられました。当部門では、今後も受講生の技術習得と交流を深めることができる様々な講座を開催していきます。

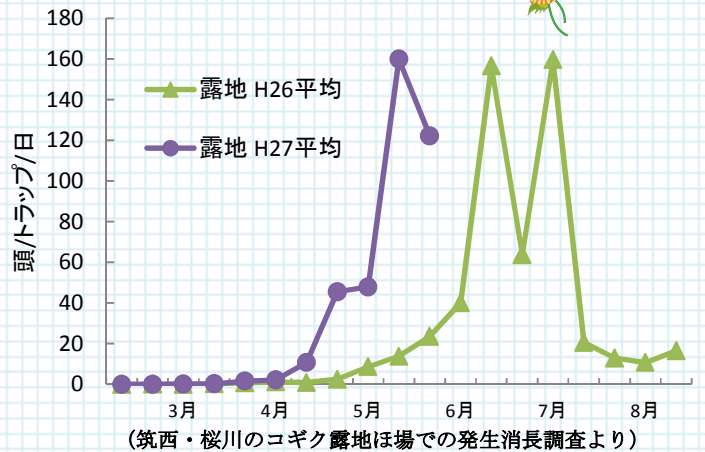


コギク露地ほ場における

～アザミウマ類の発生に注意！！～



露地におけるアザミウマ類の発生は、昨年と比較するとピークが早い傾向です。ほ場の観察をきめ細かく行い、例年よりも早めの防除を心がけて下さい。ほ場内及び周辺の雑草防除を徹底したり、光反射マルチやUVカットフィルムの活用、栽培終了後のハウスの密閉処理など、耕種的・物理的手法を組み合わせ、地域で総合的に防除しましょう。



農業大学校 オープンキャンパスの日程について

農業大学校の中を探検！1日学生になって模擬授業を受けたり、実習や実験が体験できます。

茨城県立農業大学校を知りたい、入学してみたいと考えている方はぜひ一度、オープンキャンパスに参加してみてください。詳細は右記電話番号か、農業大学校ホームページまでお願いいたします。

見学内容	開催場所	日程
農業部	長岡キャンパス Tel:029-292-0719	7月29日(水)
		9月19日(土)
園芸部	岩井キャンパス Tel:0297-34-2141	7月23日(木)
		9月12日(土)

普及員のひとごと・・・小林 義裕

4月に東北の常陸太田普及センターから異動してきました。筑波山の西に広がる農地に展開している稲作、畑作、園芸に圧倒される日々です。県を代表する農業地帯ですが、産地を支える農家個々に目を向け、魅力ある農業経営が展開できるよう支援していきますのでよろしくお願ひします。

～編集後記～

最近、外に出て作業をする日に限って日が出ています。真夏に向けた予行練習ということで、自分を納得させています。(谷口)